

頭高ノ白章旗ヲ樹立セリ

第二章 作戰經過

其一 上陸ヨリ廣福鎮附近ノ戰鬪

一 上陸

ノ(九月二十七日)師團主力ハ吳淞ニ其一部ハ上海ニ上陸ヲ開始シ爾後(十月七日)迄ノ間ニ附表第一ノ如ク上陸ヲ完了セリ

2. 上陸當時ニ於ケル彼我一般ノ態勢附圖第一ノ如シ

二 戰鬪參加

ノ(九月二十九日)師團ハ第十一師團ト第三師團間ニ兩旅團長ノ指揮スル
71, 191ヲ集結スルヤ第三師團右翼部隊ト交代シ當面ノ敵ヲ擊壊シ先ツ

0902

吳家橋沈家宅ノ線ニ進出スヘキ軍命令ニ接ス

2. 師團ノ部署

師團ハ取敢ス上陸ヲ完了セル
18iB (-36i) シ基幹トスル部隊ヲ右翼隊、
6iB (-36i) ラ基

幹トスル部隊ヲ左翼隊トシテ、
萩湫クリークノ線ニ進出シ爾後ノ攻撃ヲ
準備セシム

3. (九月三十日) 右翼隊戦闘開始

師團ハ第三師團右翼(騎兵輜重ノ部及 68i) 正面ト交代スヘキ前進セル
當時第三師團ハ重點ヲ右翼 68i 正面保持シ攻撃中ナリシヲ以テ右翼
隊ニ第三師團右側掩護隊タリシ騎兵及輜重ノ部ト交代、萩湫クリ
ックノ線ニ進出中(三十日) 午後二時朱家宅ノ前面ヲ占領中ナリシ敵ノ一

部ト初メテ戦闘ヲ開始シ直ニ之ヲ撃壊シ概ネ荻涇クリーク東岸ニ進歩
攻撃準備ス

此日左翼隊方面ハ第三師團ノ戦闘進展セザリシ爲其後方徐家宅ニ在リテ
待機ス

ハ(十月一日)攻撃前進開始

此日右翼隊右第一線(五九)ハ午前十時三十分郭巷橋東側ニ在リシ敵掩
蓋機関銃座ノ我カ歩兵砲射撃ニ依リ破壊セラルヤ敵兵動搖ニ色アリシヲ以テ
大隊ハ獨斷「荻涇クリーク」ヲ渡河シ攻撃前進ヲ開始シタ刻迄目標線タル
吳家橋附近ニ進出セリ

ハ隣接師團ノ状況

0904

此日(十月二日)第十師團左翼方面ニ部又我カ師團ノ進出ニ伴ヒ若干
戰況ノ進展ヲ見タルモ未タ羅店鎮——劉家行道ニ進出スルニ至ラス

第三師團右翼方面ハ此日戰況有利ニ進展シ朱宅北王宅ノ線ニ進出セリ

6. 師團當面ノ敵情中判明セルハ10.770.780ノ三ヶ師ナリ

三、廣福鎮附近ノ戰鬪

(十月二日——四日)

ノ(十月二日)右翼隊第一線ハ白沼胡家宅ノ線ニ進出シ左翼隊ハ第三師團

ノ右翼方面逐次東方ニ轉移スルニ伴ヒ概ネ午前七時乃至八時ノ間ニ之

ト交代シ少數ノ敵ヲ擊破シツ、本夕刻迄ニ鯉魚灣張家宅ノ線ニ進出セリ

乙、攻撃企圖

此日師團ハ逐次當面ノ敵ヲ擊破シ陳家行東西ノ線ニ進出スヘキ軍命令接

セルモ當時辛ウシテ戰列部隊戰場ニ到着セルニ過ギスシテ補給並衛生機
關未タ上陸ヲ完了セサル現況ニ鑑ミ概テ現在ノ線於テ攻撃ヲ準備シ後
方機關主力ノ到着ヲ待テテ攻撃ヲ再興セント企圖セリ

3. (十月三日) 早朝軍及飛行情報ニ依リ敵ハ全面的ニ退却ノ徵アリ就中廣
福鎮附近ヨリ退却部隊多シト情報ニ基キ師團ハ重點ヲ右翼ニ保持シ
攀廣福附近ヲ突破シ廣福陳家行間東面セル敵陣地ヲ北方ヨリ席捲
シ陳家行線ニ進出セントシ左ノ如ク部署スル所アリ

イ 右側掩護隊

騎兵九

(白沼以北ノ掩護)

ロ 右翼隊

歩六旅團ⅡA基幹

(廣福附近攻撃)

ハ 左翼隊

歩六旅團ⅠA基幹(歩三五欠)

(右翼隊ニ連繫攻撃)

四

0906

ニ砲兵隊

(9BA (IⅢ)

10SA)

々兩翼隊ハ朝來力攻之努メ右翼方面ニ於テハ北梅宅、新宅ノ線ニ左翼方面ニ在リテハ櫓網湾、陸家宅ノ線ニ進出セリ

△(十月四日)攻撃重點變更

師團ハ二三兩日ニ互リ依然重點ヲ右翼ニ保持シ力攻ニ努メタルモ右翼方面ハ北梅宅、南梅宅、新木橋附近ニ進出セルノミニシテ敵陣頗ル堅固ニシテ徒ニ損害多ク戦果見ルヘキモノナシ之ニ反シ助攻方面タル左翼隊ハ戦況有利ニ進展シ概ネ蘆藻浜、クリークノ線ニ進出セルノミナラス軍事攻正面タル第三師團亦大ニ戦況進展スル所アリシヲ以テ四日師團長ハ左記理由ニ基キ重點ヲ左翼方面ニ移シ攻撃スルニ決シ左翼隊ニ351主力ヲ増加シ

0907

當面ノ敵ヲ攻撃セシム

當時ニ於ケル彼我ノ態勢附圖第三ノ如シ

左記

イ、廣福附近敵ノ堅陣ヲ突破シ南下スルハ軍主力ノ南下作戰ヲ遲延セシムルノ虞大ナリ

ロ、廣福附近ノ敵退却徴ナキコト判明セルヲ以テ寧ロ曰下戰況有利ニ進展シ戰果擴張容易ナル方面ヨリ戰鬪ヲ進展セシムルヲ有利トス

ハ、堅陣ヲ近ク右ニ控ヘ狹小ナル正面ニ於テ側敵行動ヲ行フハ損害大ナルヘキモ軍全般ノ目的達成上速ニ陳寡行東西ノ線ニ進出スルヲ刻下急務トス

務トス

6(十月五日) 部署變更

此日軍命令基キ新第十三師團ノ一部師團右翼隊正面ニ進出シ側背掩護ヲ行フニ至リ師團ハ新ニ36ノミヲ右翼隊トシ新木橋(含マス)以南老陸宅ノ敵陣ヲ攻撃セシム

其二 陳冢行附近ノ戰鬪

一 陳冢行附近ノ戰鬪ニ於ケル敵情

ノ敵陣地ノ情況附圖第三ノ如シ

2. 當時敵ハ既設陣地ヲ逐次增強シ全線掩蓋ヲ以テ設備セル堅固ナル陣地ニ占據シ且守兵ハ督戰隊ノ巧妙ナル配置ト強壓ト依リ屍ト化スル

モ陣地ヲ放棄セサルミナラス一據點奪取セラルハヤ必ス數回ニ互リ逆襲
ヲ實施シ就中頓悟附近ニ對スル逆襲ハ一夜十回ニ及ヘリ

3. 十月七日乃至十月十七日ノ間ニ於テ師團ト交戦セル敵師團數ハ(3D 8D
15D 16D 32D 78D 82D)七個師ニ及ヘリ

ニ攻撃經過ノ概要

ノ(十月七日—十月十日)頓悟橋亭宅附近ノ戦闘

イ此間右翼隊(36i)ハ孟家宅清水廟附近ノ側面陣地ニ對シ力攻之努メ

タルモ戦闘ノ進展意ノ如クナラス左翼隊方面ハ七日頓悟橋亭宅附

近ノ敵陣ヲ突破セルモ爾後攻撃亦進展セス

ロ攻撃要領ノ變更

0910

當時ニ於テ第一線兵力ハ既ニ相當多數ノ損害ヲ生シ彈藥特砲
彈ノ補充意ノ如クナラス一日〇ニ基數使用ノ已ムヲ得サル情況下戰
況ノ進展遲タトシテ進マス死傷者ノ續出スル情況ニ立チ至リシヲ以テ
師團ハ茲ニ攻撃要領ヲ變シ輕易ナル攻撃築城ヲ應用シテ逐
次攻撃陣地ヲ推進シ敵前至近ノ距離ニ迫リ短時間熾烈ナル歩砲
火力ヲ據點ニ集中シ各據點ヲ逐次鱗ヲ剝ク如ク攻略スルノ已ムヲ得ル
ニ至レリ

ハ戰鬪進展情況

前述ノ如ク本期間ニ於ケル戰鬪ノ進展ハ真ニ遲タトシテ進マス僅ニ須宅
北桃園浜西方無名部落北部盛宅ノ線ニ進出セルニ過ギズ

當時ニ於ケル彼我ノ戰線附圖第四ノ如シ

乙(十月十日—十月十八日)陳家行盛宅及塘北宅占領

イ. 師團攻撃部署

(十月十日) 18th 長ノ指揮スル歩三大(19th (I-II) 7th)ヲ基幹トスル部隊ヲ新ニ

右翼隊トシ陳家行ヲ攻略スルト共ニ主力ヲ以テ蘆宅附近ノ敵陣地ヲ

突破シ小郝公廟ノ線ニ進出セシム

左翼隊タル 6th 長ノ指揮スル歩五大(19th (I-II) 35th)ヲ基幹トスル部隊ヲ以テ一

意當面ノ敵ヲ撃破シ徐家巷ノ線ニ進出セシム

ロ(十月十日—十三日)

此四日間兩翼隊ハ歩砲飛協力ノ下ニ力攻ニ力攻ヲ累ネタルモ戰況大ナ

ル進展ヲ見ルニ至ラス利ハ天候不良秋雨致々トシテ降續キ敵陣目
ニ其兵力ヲ増シ且陳家行蘆宅小柳公廟ヲ連スル斜交陣地ヲ新築
増強スルニ至レリ

ハ(十月十四日—十八日)陳家行攻略

右ノ狀況ニ基キ(十四日)師團ハ先ツ敵陣地ノ鎖鑰タル陳家行ヲ攻略ス
ルニ決シ右翼隊ニ取テ復歸シ歩砲飛密接ナル協力ノ下ニ銳意戰死
ノ進展ニ努ムコト方ニ五日右翼隊ハ多大ノ犠牲ヲ拂ヒ遂ニ(十月十八日)完
全ニ陳家行ヲ占領セリ 此間左翼隊又力闘ノ結果師團當面ニ於
ケル大據點タル塘北宅ヲ攻略シ北桃園浜ノ敵ニ對シ攻撃準備ヲ完了セリ
三本戰團間ニ於ケル彼我一般ノ情勢

北支方面ニ在リテハ戰況極メテ有利ニ進展シ神速果敢ナル追撃ヲ續行
シツアルニ反シ上海方面ニ於テハ軍上陸以來既ニ三月ニ垂ントスルモ戰
果未タ豫期ノ如ク擧ラス更ニ國家内外一般情勢ハ大場鎮附近迅速ナル
攻略ヲ必要トスル事情ニ立至リ銃前銃後ヲ通シ眞ニ重苦シキ空氣ニ
包マレタリ

其三 陳家行附近攻略後 走馬塘「クリーク」

ニ至ル戰鬪

(十月十九日—二十三日)

「攻撃部署

(十月十九日)師團ハ(十月二十四日)迄ニ走馬塘「クリーク」北岸ニ進出シ同
「クリーク」南岸敵陣地ニ對スル攻撃ヲ準備スヘキ軍命令ニ接シ直ニ師團

豫備タリシ³⁶⁶（四）ヲ中央隊トシ第一線ニ注入シ戰況ノ進展ヲ圖ル

二 戰鬪經過（十九日—二十三日）

各翼隊ハ砲飛協力ノ下ニ力戰奮闘一意攻撃進展努メ逐次鞏強ナル敵壘ヲ拔キ（十月二十三日）夕ニ六軍所命ノ期日ニ先ツコト一日率先攻撃準備線ニ進出スルヲ得タリ

三 當時ニ於ケル彼我一般ノ態勢附圖第五ノ如シ

四 攻撃準備線進出當時ニ於ケル師團第一線ノ戦力

第一線歩兵ノ兵力ハ蘆藻沢「グリーク」ヨリ走馬塘「グリーク」ニ至ル約三吉ノ堅陣突破間或ハ正面スル敵歩砲火或ハ右側面ヨリスル側射斜射ノ爲或ハ突入時ニ於ケル手榴彈戰ヨリ逐次減少シ攻撃準備線到

着時ニ於テハ既ニ其兵力約八分以下ニ減シ伍長ヲ中隊長トスル長以下ニ
十名内外トナリタル中隊少トセサルニ至レリ

斯カル狀況ニ立チ至ルモ忠勇無雙ノ我カ團下將兵八名譽アル軍旗ノ下ニ
致團結瞬時ト雖攻勢挫折スルコトナク益々勇猛心ヲ奮起シ速ニ大場鎮ヘ
帶敵ヲ撃破セサレハ已マサルノ決意ヲ以テ一意前進ヲ續行セルモノ洵鬼神
ヲ突カシムルモノアリ

其四 走馬塘クリク附近ノ戦鬪 (十月二十四日—二十五日)

一 走馬塘クリクノ渡河攻撃

敵情

(十月二十三日)ニ於ケル敵情附圖第六ノ如シ

0916

當時敵ハ江湾鎮方面ヨリ逐次兵力ヲ西方及南方ニ後退セシメツアル一面
南翔大場鎮正面ノ陣地ヲ益々強化中ナリ

2. 戦闘經過

イ(十月二十四日)師團ハ十月二十三日夜來當面ノ敵ニ對シ攻撃準備中
前述ノ敵情ニ鑑ミ午前八時蘇州河ニ向ヒ追撃スヘキ軍命令ニ接シ師
團ハ直ニ攻撃前進ヲ命ジ渡河ヲ開始セシム

ロ此日^{四九}ハ渡河攻撃ヲ反覆スルコト方ニ三回遂ニ本夕刻張宅附近ニ於
テ敵主陣地帯ノ一角ヲ突破シ同堅陣^{五〇}破壊ノ端緒ヲ拓ケリ

ニ渡河後ノ追撃(十月二十五日—二十八日)

九^二引續キ(二十五日)未明³⁶₃₈共ニ走馬塘^{四一}クリクヲ渡河シ先ツ敵主陣

地ノ第一線ヲ拔キ爾後逐次戦果ヲ擴張シ(十月二十八日早朝迄ニ蘇州河北岸ノ敵ヲ完全ニ掃蕩シ得タリ)

三 廣福附近ノ戦鬪ヨリ蘇州河迄ニ於ケル彼我ノ損耗情况左ノ如シ

我軍 戦死 將校以下 二八七二名

戦傷 將校以下 六六八四名

敵軍 遺棄死體 九八〇〇

其五 蘇州河附近ノ渡河作戦

一 蘇州河南岸地區ニ於ケル敵情並友軍ノ態勢附圖第六ノ如シ

而シテ戦鬪後判明セル敵師團數ハ9D、61D、62D、67D、78D、87D、91D、36D、103D、106D 税警團

等十ヶ兵團余ニ及ヘリ

ニ攻撃計畫

(十月二十八日)蘇州河渡河攻撃ニ關スル軍命令ニ接スルヤ師團ハ蘇州河ノ障礙ト敵陣地ノ強度ニ鑑ミ十分ナル渡河準備下ニ攻撃スルニ決シ左ノ如ク部署ス

184B ヲ基幹トスル部隊ヲ右翼隊

64B ヲ基幹トスル部隊ヲ左翼隊

44/196 ヲ師團豫備

トシ(十月三十一日—十一月一日午前)ニ互ル間敵陣地破壊射撃ヲ實施シ之ヲ引續キ(十一月一日)正午先ツ右翼隊ヨシテ師團及軍砲兵主力ヲ支援射撃下ニ強行渡河セシメ(十一月二日)午後一時左翼隊ヲ渡河セシム

0919

三、攻撃實施

十一月一日正午右翼隊第一線タル366ヲ基幹トスル部隊ハ各兵種極メテ緊密適切ナル協同ノ下ニ先ツ駈ヲ先頭トシ渡河ヲ開始シ午後三時迄ニ右翼隊ノ歩三大隊(Ⅲ³⁶⁶・191^(-Ⅳ))ノ敵前渡河ニ奏功シ姚家宅、張家宅南端ニ進出セリ

之ニ引續キ翌(十月二日)朝迄ニ歩兵六大隊ヲ渡河セシメタリ

本渡河攻撃ニ際シ河岸ニ於テ斃レタルモノ僅ニ戦死九、負傷二十三名ニ過キサリキ如斯僅少ナル損害ヲ以テ敵前強行渡河ニ奏功セルハ渡河準備ノ周到ナリシト各兵種特ニ歩砲兵ノ協同其宜ヲ得タルト敵陣地中比較的弱點ニ乘シ得タルニ依ルモノト判断セラル

2. 渡河計畫ノ變更

(十月二日)師團ハ右翼隊ノ戰果擴張ノ成果ニ鑑ミ左翼隊ヲシテ依然
堅固ニ設備セラレタル北新涇鎮東西地區ヨリ渡河攻撃セシムルハ不利ナ
リト判断シ右翼隊ヲシテ益々戰果ノ擴張ニ努メシメ其援護下ニ左翼
隊ヲ渡河シ東方及南方ニ戰果ヲ擴張セシメタリ

3. (十月二日乃至七日)ニ亙ル六日間第一線兩翼隊ハ極力戰果擴張ニ努メ
ルモ屈家橋八字橋附近ノ敵陣極メテ頑強ナルト敵急擧多數ノ兵力
ヲ本正面ニ集中シ其數約セテ師ノ多キニ上リ容易ニ拔ク能ハサリキ

4. 追撃開始

(十一月九日)未明兩翼隊敵兵退却ニ徴アルヲ察知スルマ直ニ之ヲ急追シ
同日午前中ニ軍所命ノ追撃目標タル虹橋路ノ線ニ進出スルト共ニ各其一
部ヲ以テ同日夕刻迄ニ諸翟鎮七寶鎮ニ進出セシメタリ

師團ハ此日新ニ配屬セラレタル10thヲ基幹トスル部隊ヲ以テ蘇州河右岸ニ沿
ヒ西方高ヒ追撃セシメタリ

四 本渡河作戰成果

師團ノ果敢ナル強行渡河ノ奏功ハ一面恰モ當時金山附近ニ上陸ヲ企圖シ
アリシ丁集團正面ノ敵ヲ牽制シ該兵團ニ上陸作戰ヲ容易ナラシメ他面第
三師團ノ蘇州河渡河攻撃ヲ容易ナラシムル多大ノ效果ヲ収メ得タリ
本戰鬪間ニ於ケル彼我ノ損害左ノ如シ

我軍

戦死

將校以下

九六一名

戦傷

將校以下

一八四三名

敵軍

遺棄死體

三五〇〇

其六 師團側敵行動間側背掩護情況

師團カ廣福附近ヨリ蘇州河突破ニ至ル約十三料ノ堅固ナル敵陣突破間
常ニ我カ右側面ニ在リテ我ヲ脅威セル側面陣地ニ對シテハ第十三師團
第十一師團ノ進出ニヨリ終始掩護セラレタリ

其七 戦闘參加ヨリ蘇州河附近敵陣突破

迄ニ於ケル彼我損害ノ概數

一、師團ノ損害

戦死

將校以下

三八三三名

戦傷

將校以下

八五二七名

二、敵ノ損害

遺棄死體

一三、三〇〇

鹵獲兵器ノ主要ナルモノ

水冷式MG

一五六挺

ナヅク式MG

六四七挺

MG

四二挺

LMG

二九六挺

迫撃砲	九門
小銃	三五九三挺
自動小銃	三八五挺
小銃彈藥	約二八〇、〇〇〇發
所彈藥	九〇〇〇發
拳銃彈藥	三〇、〇〇〇發
捕虜	二二一名
其他鹵獲品多數	